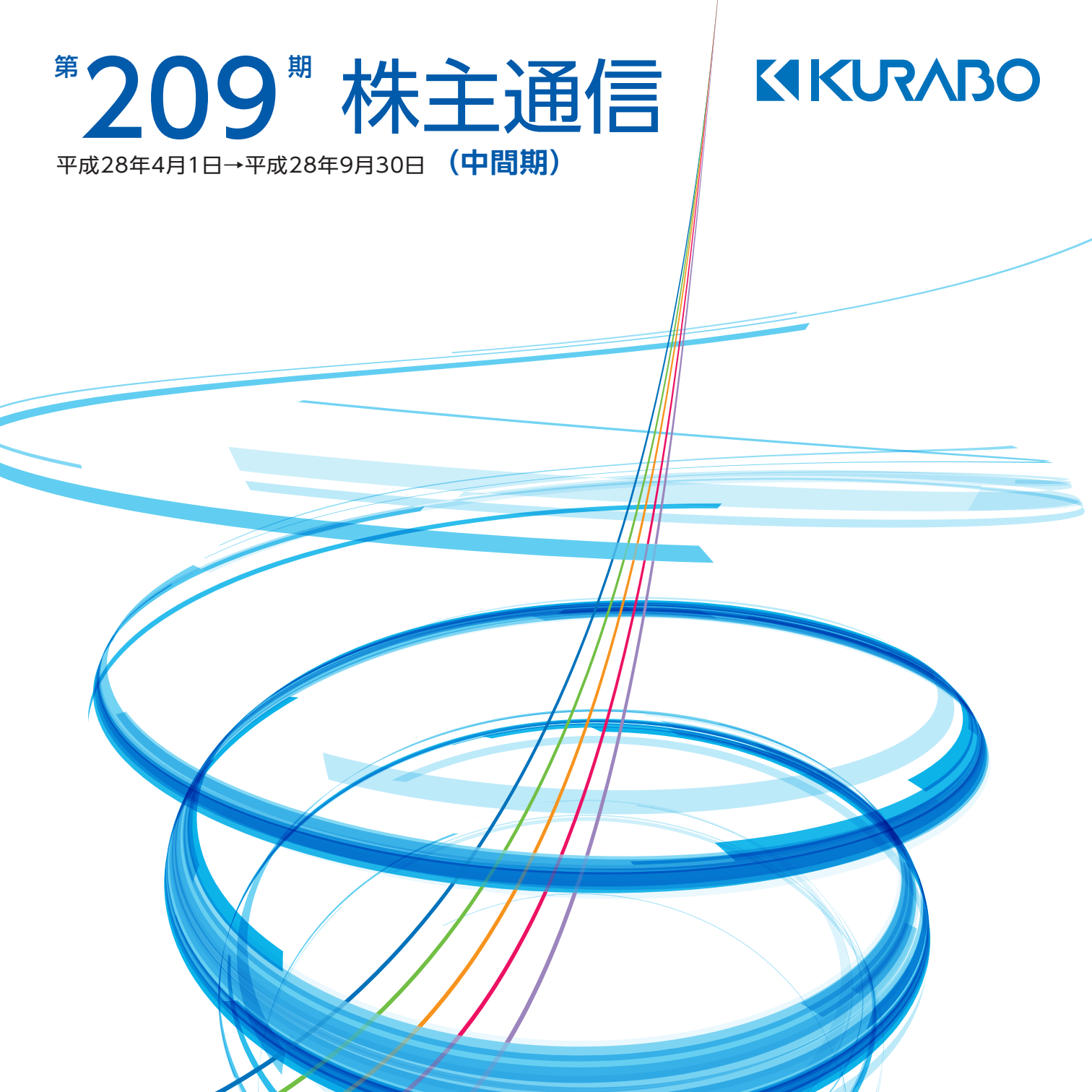


第 209 期 株主通信

平成28年4月1日→平成28年9月30日 (中間期)

 KURABO



株主の皆様へ



取締役社長 藤田 晴哉

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループの第209期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から同年9月30日まで）の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は高水準を保ち、雇用・所得環境も改善傾向で推移しましたが、中国の景気減速やその他の新興国の成長鈍化に加え、本年6月の英国のEU離脱決定の影響などもあり、景気の先行きに不透明感が漂いはじめました。

このような環境下において当社グループは、本年4月よりスタートした新中期経営計画「Advance'18」の基本方針である「収益拡大に向けた事業変革」のもと、将来市場を見据えたマーケット志向型事業への転換を図り、高付加価値かつ高収益ビジネスの追求、技術革新と新規事業創出などにも注力しました。

なお、新規事業である「徳島バイオマス発電所」が本年7月に竣工し、売電事業を開始しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は782億円（前年同期比8.7%減）、営業利益は24億1千万円（同64.4%増）、経常利益は23億6千万円（同46.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億3千万円（同35.0%増）となりました。

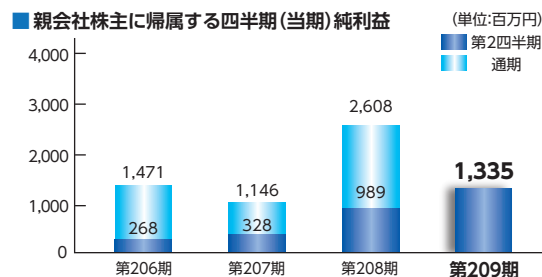
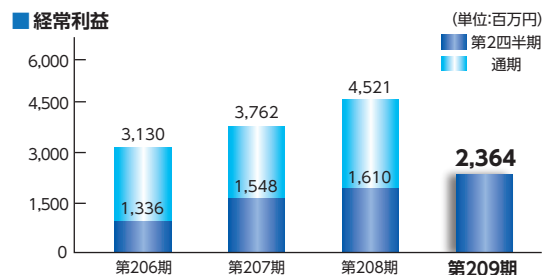
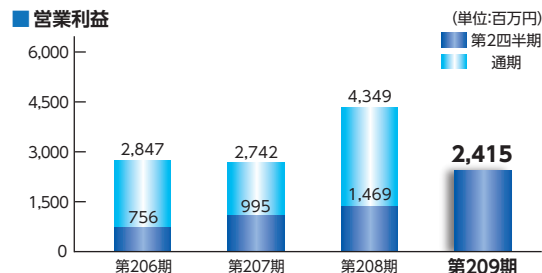
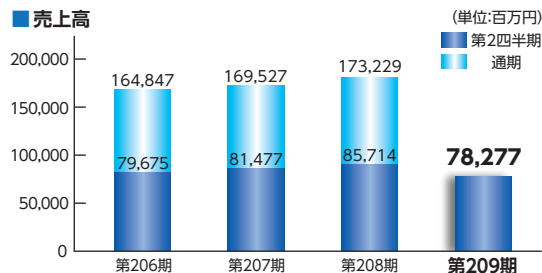
なお、当事業年度の中間配当につきましては、前事業年度と同様見送らせていただくことといたしました。

今後のわが国の経済情勢につきましては、中国をはじめとする新興国の景気減速やテロその他の地政学的リスクなどが、景気回復を鈍らせることが懸念されます。

このような経営環境のもと、当社グループは、持続的な成長を可能とすべく、高付加価値商品・サービスの開発・提供、グローバル市場への販売拡大、新事業分野の開拓や新規事業の育成・拡大に注力するとともに、コーポレートガバナンスの強化や法令遵守の徹底など、倫理ある事業活動の推進に努めてまいります。

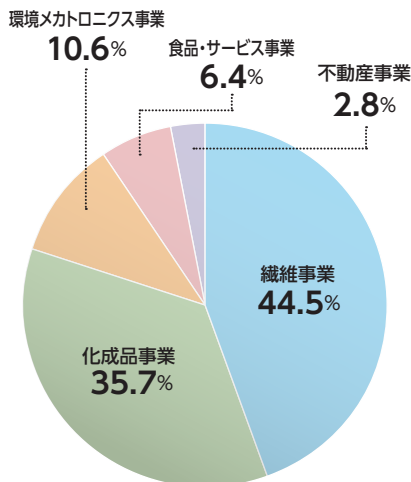
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年11月



当社グループの事業概況

事業セグメント別売上高構成比率



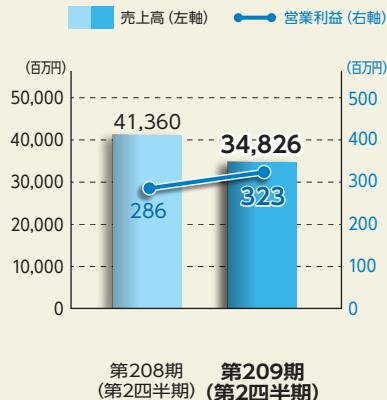
総額 782億円

※事業セグメント変更について

本年4月1日よりスタートした新中期経営計画「Advance'18」にあわせて、従来7つあった事業セグメントの整理・統合を行い、「繊維事業」「化成品事業」「環境メカトロニクス事業」「食品・サービス事業」「不動産事業」の5つの事業セグメントに変更しております。また、これまで「繊維事業」に所属していた不織布、繊維補強資材分野については、製品市場が共通している「化成品事業」に移管しております。

なお、第2四半期連結累計期間の売上高等の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて比較しております。

繊維事業



原系分野は、国内外の連携によるグローバルな生産・販売により堅調に推移しました。

カジュアル分野は、国内販売が堅調に推移したものの、輸出が円高の影響を受け、収益面できびしい状況が続きました。

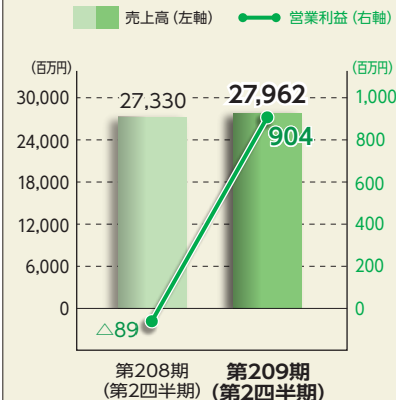
海外子会社におきましては、東南アジアは収益面で一部に改善が見られましたが、ブラジルは経済情勢悪化の影響などにより低調でした。

この結果、売上高は348億円(前年同期比15.8%減)、営業利益は3億2千万円(同13.0%増)となりました。

繊維事業

- 綿、合繊その他素材の繊維製品(糸、織物、編物および二次製品)の製造・販売

化成品事業



自動車分野では、内装材向け軟質ウレタンフォームは国内の生産台数が低水準で推移するなか輸出向けが好調でした。また、フィルター向け不織布なども順調に推移しました。

機能フィルム分野は、文具向け製品などが順調に推移しました。また、高性能樹脂加工品は、半導体製造向けが好調でした。

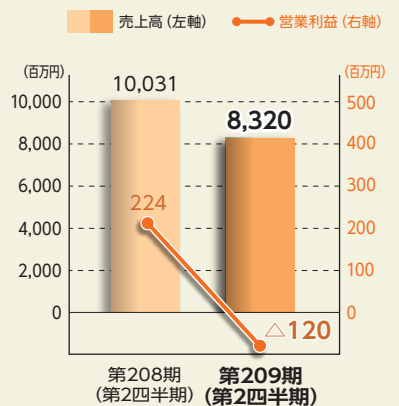
住宅建材分野は、防水向け繊維補強資材が堅調に推移し、エクステリア商品なども順調でした。

この結果、売上高は279億円(前年同期比2.3%増)、営業利益は9億円(前年同期は営業損失8千万円)となりました。

化成品事業

- ポリウレタンフォーム、合成木材、無機建材、機能性フィルム、精密ろ過関連製品および高性能インフラ製品の製造・加工・販売
- 不織布、繊維補強資材の製造・販売

環境メカトロニクス事業



エレクトロニクス分野は、飲料容器の検査装置や半導体向け成分計が堅調に推移しました。

バイオメディカル分野は、海外向けの核酸自動分離装置が順調でした。

エンジニアリング分野は、収益面できびしい状況が続きました。

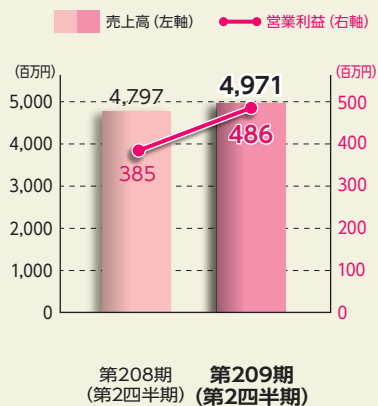
工作機械分野は、国内外の設備投資の不振を受け、主力の横中ぐりフライス盤が低調でした。

この結果、売上高は83億円(前年同期比17.1%減)、営業損失は1億2千万円(前年同期は営業利益2億2千万円)となりました。

環境メカトロニクス事業

- エレクトロニクス関連製品の製造・販売
- 環境・エネルギー関連の各種プラント等の設計・製作・施工・販売、バイオマス発電所の運営
- バイオ関連製品の製造・販売
- 工作機械等の製造・販売

食品・サービス事業



食品分野は、即席めん具材およびスープ市場向け製品が好調に推移しました。

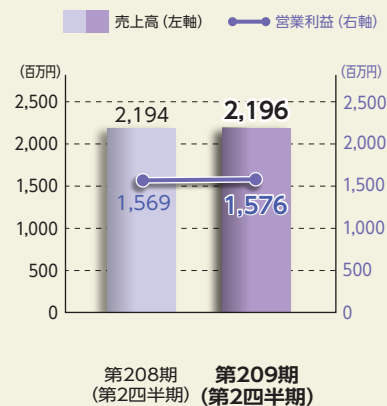
ホテル分野は、宿泊部門および物販部門が堅調に推移しました。

この結果、売上高は49億円(前年同期比3.6%増)、営業利益は4億8千万円(同26.4%増)となりました。

食品・サービス事業

- 真空凍結乾燥食品の製造・販売
- ホテル、自動車教習所の経営ほか

不動産事業



賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は21億円(前年同期比0.1%増)、営業利益は15億7千万円(同0.5%増)となりました。

不動産事業

- 不動産の賃貸

ホームページのご案内

>>> <http://www.kurabo.co.jp>

当社ホームページでは、会社案内やニュースリリースのほか、IR情報をお届けするため、「株主・投資家情報」のサイトを開設しています。

当社の開示資料を閲覧できる「IR資料室」、IR活動の日程をまとめた「IRカレンダー」など、株主の皆様のお役に立つ情報を提供しています。



連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成28年9月30日)	科目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部			負債の部		
流動資産	88,951	82,331	流動負債	62,306	55,747
固定資産	92,597	90,341	固定負債	30,483	29,572
有形固定資産	54,316	52,633	負債合計	92,790	85,320
無形固定資産	797	669	純資産の部		
投資その他の資産	37,484	37,038	株主資本	84,959	85,118
資産合計	181,549	172,673	その他の包括利益累計額	△3	△777
			非支配株主持分	3,802	3,011
			純資産合計	88,759	87,352
			負債純資産合計	181,549	172,673

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)
売上高	85,714	78,277
売上原価	73,100	65,355
売上総利益	12,614	12,921
販売費及び一般管理費	11,144	10,505
営業利益	1,469	2,415
営業外収益	789	739
営業外費用	648	790
経常利益	1,610	2,364
特別利益	12	—
特別損失	—	307
税金等調整前四半期純利益	1,623	2,057
法人税等	602	644
四半期純利益	1,021	1,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	989	1,335

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日～ 平成27年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成28年4月1日～ 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,664	4,942
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,382	△2,696
財務活動によるキャッシュ・フロー	△458	△5,593
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155	△290
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,667	△3,637
現金及び現金同等物の期首残高	17,196	18,372
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	121	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,986	14,735

繊維事業部

家庭で手軽に洗濯、乾燥できる 布団“ランドリーム”が好評

繊維事業部で販売している家庭で手軽に洗濯、乾燥ができる掛け布団“ランドリーム”が好評です。これまでの布団は、かさばるため洗濯機に入れにくく、また濡れると重くなり、乾燥にも時間がかかるため、汚れても家庭での洗濯は敬遠されてきました。



“ランドリーム”は、付属の洗濯ネットに入れるとコンパクトサイズになります。独自開発した中綿により洗濯脱水後の重量は約2.3kgと軽く、干すのが容易で、乾燥も約3時間*と短時間で済むため、家庭で簡単に洗濯

できます。乾燥後は空気層をたっぷり含んだ元の状態にほぼ戻り、やわらかさと温かさが保たれます。また、肩まわりは体にフィットするように設計されており、布団の中の熱が外に逃げにくく保温性も高まります。現在、インターネットのクラブオウ楽天市場店で購入できますので、ぜひ一度お試しください。

クラブオウ楽天市場店：<http://item.rakuten.co.jp/kurabo/00001>



*乾燥時間

脱水後、温度23℃、湿度27%の室内で広げて吊干した場合、約3時間で乾燥。

家庭で手軽に洗濯、乾燥

化成品事業部

自動車用シートクッション材が、 トヨタ「エティオス (Etios)」に採用

化成品事業部は、海外戦略の一環として、ブラジルに現地法人クラシキ・ケミカル・プロダクツ・ド・ブラジル(有) (以下、KCB) を設立し、自動車用ウレタンモールド製品(シートクッション材など)の製造・販売を行っています。このたび、KCBの製品が、トヨタグループの新興国向け戦略車「エティオス」の中南米地域での販売車種に採用され、本年4月から納入を開始しました。トヨタ車へのウレタンモールド製品の採用は、今回が初

めてで、当社が有する優れた開発力が、トヨタ紡織(株)が目指す高い快適性と安全性へのきびしい性能要求をクリアしたことで、KCBの強みである品質管理力がトヨタ紡織(株)のブラジル現地法人に評価され、受注に至りました。

今後も、当社とグループ会社との連携を図り、さらなる事業の拡大に邁進してまいります。



トヨタ エティオス (Etios)

環境メカトロニクス事業部(エンジニアリング分野)

四国で最大級となる 木質バイオマス発電所が竣工

環境メカトロニクス事業部の新規事業である発電事業拠点「徳島バイオマス発電所」が稼働し、本年7月27日に竣工式が行われました。当日は、飯泉知事をはじめとする徳島県ならびに地元の阿南市、商工会議所などの関係者約100名の方にご列席いただき、竣工式と発電所見学会が行われました。徳島バイオマス発電所は、間伐材などを燃料とし、当社がエンジニアリング分野で長年培ってきた流動層焼却技術を発展させたボイラーと蒸気タービンの組み合わせにより効率的な発電を行います。木質系燃料のバイオマス発電所としては、四国最大級の施設で、年間発電量は約4,000万kWh、一般家庭

約1万1,000世帯分の年間使用電力量に相当します。木質バイオマス発電により、森林に放置されている間伐材などの有効活用で、森林環境の保護、林業の活性化に貢献するとともに、低炭素社会の実現に努めてまいります。



徳島バイオマス発電所竣工式

関係会社:倉敷繊維加工(株)

放射性セシウム除去用給水器の 開発で文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞

倉敷繊維加工(株)は、量子科学技術研究開発機構、日本原子力研究開発機構と共同開発した飲料水向け放射性セシウム除去用給水器“クランセール”の技術確立とその実用化が評価され、平成28年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞(開発部門)を受賞しました。この賞は、日本の社会、経済、国民生活の発展向上などに寄与し、実際に活用されている画期的な研究開発などを対象とした表彰制度で、本年4月20日に文部科学省で表彰式が行われました。

“クランセール”は、家庭の蛇口に直接取り付けて水中の放射性セシウムを除去する給水器で、セシウムを効率よく吸着するために、独自の加工を施した不織布製フィルターが使われています。

東日本大震災による被災地の一部で昨年より供給が開始されており、今後、被災地の方々の安全・安心を担う重要な役割が期待されています。



文部科学省での受賞メンバー



記念盾

関係会社:(株)倉敷アイビースクエア

● G7倉敷教育大臣会合が ● 倉敷アイビースクエアで開催

本年5月14日、15日に倉敷アイビースクエアでG7倉敷教育大臣会合が開催されました。

倉敷教育大臣会合は、G7伊勢志摩サミットに関連して開催された各国の教育関係の大臣級が集まる公式会合で、議長国である日本をはじめ、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、イギリス、アメリカ、EUの7か国・1地域と、経済協力開発機構(OECD)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)の各代表が参加しました。会合では、「教育におけるイノベーション」をテーマにさまざまな議論が行われ、最終日には、その成果文書として「倉敷宣言」が採択されました。

当社の創業時の工場をホテルに再開発した倉敷アイビースクエアが、G7倉敷教育大臣会合の場選ばれたことは、クラブウグループとして大変光栄なことであり、今後も、その魅力を高めてまいります。



G7倉敷教育大臣会合 集合写真(撮影場所:倉敷アイビースクエア中庭)

C S R の 取 り 組 み

インターンシップ

クラブウグループは、若年者層の教育の一端を担うためにインターンシップを行っています。安城工場では、本年8月、愛知県立安城南高等学校の生徒を受け入れ、織布工程などの職場体験を実施しました。この経験が、これからのキャリアプランを考える良い機会になることを期待しています。



インターンシップシーン

被災地支援

クラブウは、本年4月に発生した「平成28年熊本地震」の被災地への支援として、義援金500万円と物資(インスタント非常食、ビスケット、簡易トイレ)を寄付しました。被災されました皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地が一日も早く復興を果たされることを心よりお祈り申し上げます。

クラブウの環境に対する取り組みについて、詳しくはホームページ <http://www.kurabo.co.jp/report/index.html> をご覧ください。

当社の株式に関する事項 (平成28年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 977,011千株
- 発行済株式の総数 242,939千株
- 株主数 19,730名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社三井住友銀行	11,180	4.93
株式会社みずほ銀行	11,180	4.93
日本生命保険相互会社	9,200	4.05
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,434	3.28
株式会社中国銀行	7,265	3.20
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	6,037	2.66
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,745	2.09
三井住友信託銀行株式会社	4,120	1.81
三井住友海上火災保険株式会社	3,200	1.41
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT	3,100	1.36

(注) ①当社は、自己株式を16,304千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
②持株比率は自己株式を控除して計算しております。

当社グループの概要 (平成28年9月30日現在)

当社

■創立 明治21年3月9日 ■本店 岡山県倉敷市本町7番1号

■主要な事業所

区分	名称	所在地	
営業所 および 研究所	大阪本社	大阪市中央区	
	東京支社	東京都中央区	
	技術研究所	大阪府寝屋川市	
工場	織維	丸亀工場	香川県丸亀市
		安城工場	愛知県安城市
		徳島工場	徳島県阿南市
	化成品	寝屋川工場	大阪府寝屋川市
		裾野工場	静岡県裾野市
		群馬工場	群馬県伊勢崎市
		鴨方工場	岡山県浅口市
三重工場	三重県津市		

当社グループの従業員の状況

従業員数(前連結会計年度末比増減)(人) 4,595(32)

(注) 従業員数は就業人員であり、上記のほか、臨時社員・パートタイマー1,161人がおります。

当社の重要な子会社の状況

区分	会社名
国内	倉敷機械(株)
	日本ジフィー食品(株)
	(株)クラボウインターナショナル
	倉敷繊維加工(株)
	東名化成(株)
	シーダム(株)
海外	(株)倉敷アイビースクエア
	クラシキ・ド・ブラジル・テキスタイル(有)
	タイ・クラボウ(株)
	(株)クラボウ・マノンガル・テキスタイル
	広州倉敷化工製品有限公司
広州倉福塑料有限公司	

(注) 上記記載の重要な子会社12社を含め、当第2四半期の連結子会社は25社、持分法適用会社は2社であります。

当社の取締役 (平成28年9月30日現在)

代表取締役 取締役社長	藤田 晴 哉	取締役 執行役員	藤井 裕 詞
代表取締役 専務執行役員	北川 晴 夫	取締役 常勤監査等委員	岡田 治
取締役 執行役員	北 畠 篤	社外取締役 監査等委員	宮 二 朗
取締役 執行役員	馬 場 紀 生	社外取締役 監査等委員	茂 木 鉄 平
取締役 執行役員	本 田 勝 英	社外取締役 監査等委員	新 川 大 祐
取締役 執行役員	稲 岡 進		

(注) ①平成28年6月29日開催の第208回定時株主総会において定款の変更が決議されたことにより、当社は同日付をもって監査等委員会設置会社に移行しております。
②社外取締役(監査等委員)宮二郎、茂木鉄平および新川大祐の3氏は、いずれも当社が定める「社外取締役の独立性に関する基準」の要件を満たしており、また東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2に定める独立役員であります。

当社の執行役員 (平成28年9月30日現在)

専務執行役員	佐野 高 司	執行役員	相 徳 朗 人
常務執行役員	藤原 秀 則	執行役員	川 野 憲 志
常務執行役員	八木 克 真	執行役員	安 川 洋
常務執行役員	西澤 厚 彦	執行役員	平 田 政 弘
執行役員	中 村 潔		

未来への礎として

倉紡記念館は、昭和44年3月、
クラボウの創立80周年の記念事業の一つとして
建設されました。

「歴史を顧みることが、未来への礎」
創業以来クラボウに貫かれているこんな考えが
生んだ記念館です。

倉紡記念館



第1室 [明治時代]



第2室 [大正時代]



第3室 [昭和時代 (戦前・戦中)]



第4室 [昭和時代 (戦後)]



第5室 [年表コーナー]

倉紡記念館

倉敷市本町7番1号 (JR倉敷駅より徒歩15分・倉敷アイビースクエア内)
TEL (086) 422-0011 ● 公開時間 AM. 9:00~PM. 5:00



倉敷紡績株式会社

<http://www.kurabo.co.jp>

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 単元株式数 1,000株
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 基準日
- 同連絡先
- (1) 定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- (2) 中間配当金 毎年9月30日 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
- 公告の方法
- 電子公告の方法により行います。
- 公告掲載URL <http://www.kurabo.co.jp>
- ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- ※平成23年5月3日に倉敷機械株式会社との株式交換に伴う株式の割当により当社株主となられた株主様のうち、みずほ信託銀行株式会社が口座管理機関となっている特別口座につきましては、平成28年11月29日より、口座管理機関を三菱UFJ信託銀行株式会社に変更しております。